

木工ドリルにまつわる

大工さんのうらばなし

ギムネを作り始めてから間もない頃のことであった。

当工場製のリングオーガーを使っていた大工さんが桁に孔を開けようとして仰向けの不安定な姿勢でギムネを回し始め誘導ネジがやっといく込むや否や足場が崩れて柄をつかんだまま宙ぶらりんとなってしまった。

だが命の綱となった誘導ネジはしっかりと木材に食い込んで折れも外れもせずに、人間一匹をつり下げ通してくれたので危うく難を免れたのであった。

危機を救われた大工さん、余程嬉しかったのか、後日偶々事業主に出会った時、その模様を話して喜んでくれたので大いに面目をほどこした次第であった。

ネジ作りの仕事が綿密だったからこそこのことで、歳月を重ねるほどに、品質の優劣が人命の安危に関わることもある。やはり仕事は端々にまで魂をこめて当ることが製作に従事する者の一日たりともおろそかにできない責務であり、

又、反面誇りなのでもある。世に目先の便利を最大目標とはき違え、生命個所の吟味をうとんじて耐用年数の短くただ売るためだけの商品に堕してしまうような風潮は、悪徳に近く、強く戒めなければならない

品質がメーカーの信用、企業成長の最大のキーポイントを握る逸話である。



「ホシエム50年のあゆみ」より



No. 1 小林式リングオーガー

こちらの手回し用のドリルは、
「小林式ギムネ」の特許が認められたドリルのひとつ



命を救う

先ネジは

木工ドリルの

要かなめ



先代の方々の想いを胸に
これからも物づくりに真摯に努めて参ります

お問い合わせは、スターエム まで

<https://www.starminfo.com>

FAX 0120-0794-83